

「ペスト」

ヨーロッパを旅行すると、各地に＜ペスト記念塔＞を見ることができま

●第1回パンデミック

6世紀に東ローマ帝国を中心に地中海一帯で200年ぐらい続き、1億人の死者を出しました。

- 14世紀ころにヨーロッパを恐怖に陥れた2回目のパンデミックを引き起こすが、17世紀にも盛衰を繰り返しながら18世紀まで続きました。ヨーロッパ人口の3分の1にあたる3000万人の死者が出たと言われています。

ペストにかかると、皮膚に黒い斑点を生じて死に至ることから「黒死病」と恐れられました。ペストはいろいろな条件が考えられますが、中央アジアで発生したペスト菌はシルクロードを經由して「クマネズミや蚕」が運んだとされています。イタリアのシラクーサから地中海の港を經由してローマ、ジェノバ、マルセイユ、バルセロナなど港を經由してヨーロッパ各地へ広まってきました。

治療法は解らず、ペストが好き放題暴れ狂い、自然にほかの土地へ移動していくのを待つしかなかったのです。そしてペストが退散したあとそれを記念して記念塔が建立されました。

- 3回目のペスト大流行は1894年(明治27年)香港で発生しました。

香港は貿易港だったので、汽船に紛れ込んだネズミによって世界へと広がった。過去2回のパンデミックより少ない死者数1000万人とされています。

3回目のパンデミックが少ないのは＜細菌学者 北里柴三郎＞が香港現地へ派遣され、ペスト菌を発見し、予防法、消毒法、治療法が発見されたからです。日本でも明治27年に広島で発見され各地へ拡散しましたがネズミの駆除などを徹底して治療薬も見つかり最小限にすんだようです。

人類は幾多の苦難に立ち向かいそれを克服してきましたが、＜コロナ＞も皆で協力して一日も早く打ち勝って普通に生活出来る日が来るのを祈るばかりです。



ウィーンのペスト記念柱